

Press Release

2017年8月30日

共和薬品工業株式会社

双極性障害のうつ症状治療薬「ビプレッソ® 徐放錠」 薬価収載のお知らせ

共和薬品工業株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:角田礼昭、以下「共和薬品」)は、双極性障害のうつ症状治療薬「ビプレッソ® 徐放錠 50mg、同 150mg」(一般名:クエチアピンフマル酸塩徐放錠)の薬価が収載されましたのでお知らせします。

「ビプレッソ® 徐放錠 50mg、同 150mg」は、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」の開発要請に基づき、アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、畑中好彦代表取締役社長 CEO、以下「アステラス製薬」)が双極性障害におけるうつ症状の改善を効能・効果とする製造販売承認を申請し2017年7月3日に承認された、クエチアピンフマル酸塩を有効成分とする1日1回経口投与の徐放錠です。

本年2月に、アステラス製薬と共和薬品が締結した契約に基づき、共和薬品が日本において同剤の流通、販売およびプロモーションを独占的に行います。

「ビプレッソ® 徐放錠」の薬価収載について、共和薬品工業 代表取締役会長 ファブリス・エグロは次のように述べています。

「共和薬品は、深刻な病気に苦しむ患者さんの高い医療ニーズに応えるべく CNS の新薬の販売に取り組むこととなりました。ビプレッソ® 徐放錠は、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」より医療上の必要性が高いという要請の下、独立行政法人医薬品医療機器総合機構により7月に承認を受け、この度薬価収載されました。双極性障害の患者さんは、日本では数十万人*と推定されています。」

*厚生労働省 HP「双極性障害」http://www.mhlw.go.jp/kokoro/speciality/detail_bipolar.html

また、共和薬品工業 代表取締役社長 角田礼昭は次のように述べています。

「共和薬品は、全国の精神科病院の94%をカバーし、これまで共和 AMEL のブランドで CNS 領域においてジェネリックを主体に事業展開してまいり、昨年は塩野義製薬と基礎的医薬品を含む長期収載品21製品の製造販売権を承継することで合意しました。そしてこの度、アステラス製薬からの販売委託を受けて、ビプレッソ® 徐放錠という、医療ニーズの高い新製品の提供を行います。共和薬品は、従来どおり共和 AMEL ブランドで幅広くジェネリック医薬品を提供しながら、CNS 領域において、ジェネリックから長期収載品、そして新薬まで強みを持つ企業として「CNS の共和」を前面に打ち出し、事業を強化してまいります。共和薬品では、ビプレッソ®

徐放錠を1日も早く提供できるよう準備を進めており、発売に際しては適正使用を全社を挙げて効果的に推進してまいります。」

共和薬品について

1954年に創業された共和薬品工業株式会社(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)は、日本市場の患者様のために、ブランド医薬品及び後発医薬品の開発・製造・販売を行っています。2017年3月期の日本市場での総売上は約288億円で、最も成長率の高い医薬品企業のひとつです。また、循環器や消化器などの領域で幅広い製品を取り揃え、特に、精神神経科領域では、精神科病院1,400のうち約94%をカバーし、ジェネリック医薬品企業としてトップクラスのシェアとなっています。高品質なジェネリック医薬品として知られる「共和アメル」ブランドを幅広く展開するとともに、精神神経科領域では「CNSの共和」を前面に打ち出し、ジェネリックから、長期収載品、さらには新薬まで事業の強化を続けています。共和薬品は、ルピン社の子会社です。

本件に関するお問い合わせ：

共和薬品工業株式会社 社長室

TEL 06-6308-3320 FAX 06-6308-7140